

# 10年後の下田市を考えよう！

## 下田市総合計画

市では、来年度からの10年間の市の指針となる「第4次下田市総合計画」の策定を進めています。策定にあたり、市民の皆さまが生活する中で感じていることや今後に期待することなどの意向を把握するため、昨年の10月から11月にかけて、市民・中学生・高校生・市職員を対象にアンケート調査を実施しました。多くの皆さまからご回答をいただきありがとうございました。今回は、その中から、市民を対象としたアンケート結果について、その集計の一部をお知らせします。

**60歳以上の方の回答が全体の約6割を占める**

調査は、昨年の10月26日から11月9日にかけて行い、住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民1,000人に対し、調査用紙を郵送しました。このうち383通の有効回答を得ることができました。

回答者の性別の割合は、男性約4割、女性約6割でした。また、性別を問わない年代ごとの回答者の割合（下記グラフ1）は、『70歳以上』が最も多く、次いで多い『60歳代』と合わせると、60歳以上の方の回答が全体の約6割を占めています。

**下田市の住み心地は？ 今後も住み続けたい？**

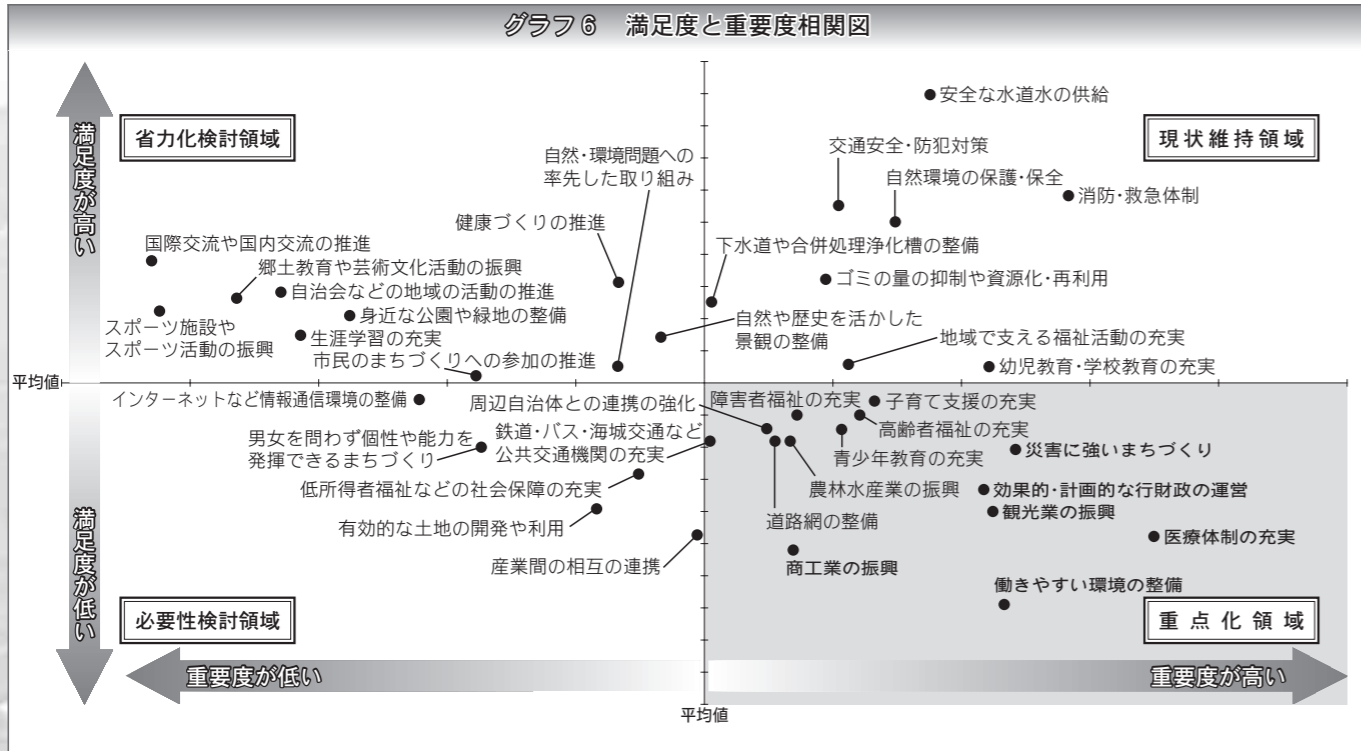
『どちらかといえば住みよい』と答えた方（下記グラフ2）が53・3%と最も多く、次いで『住みよい』が23・0%となっています。それに対し『どちらかといえば住みにくい』が16・4%、『住みにくい』が6・0%でした。

程度の違いはあるものの、約4分の3強の皆さまは本市を住みやすいと感じています。また、今後も本市に『ずっと住み続けたい』と答えた方（下記グラフ3）は63・2%と最も多く、一方『市外へ移りたい』と答えた方は10・7%となっています。

**住みよさ・住みにくさの理由は？**

住みよさの理由（下記グラフ4）では、『海や山、温泉気候などの自然環境』と答えた方が82・5%で最も多く、次いで『魚介類や農産物などの新鮮な地場産品が豊富』が37・9%、『おもてなしや人付き合いなどの住民の人情や気風』が26・6%となっています。

一方、住みにくさの理由（下記グラフ5）では、『病院や介護施設などの医療や福祉の環境』と答えた方が56・9%と最も多く、次いで『就職環境』が50・9%、『バスや電車、道路などの交通の便や通学・通学の便』が32・4%となっています。



**まちづくりの満足度と重要度は？**

37項目の満足度と重要度を表した相関図（上記グラフ6）では、縦軸が「満足度」、横軸が「重要度」を表しています。ここでいう「高い」「低い」は、他の項目に対し「相対的に高いか、低い」を意味しています。

満足度は、まちづくりに対する市民の評価であるといえ、行政や市民などが協力して満足度をより高める努力をすることが求められます。

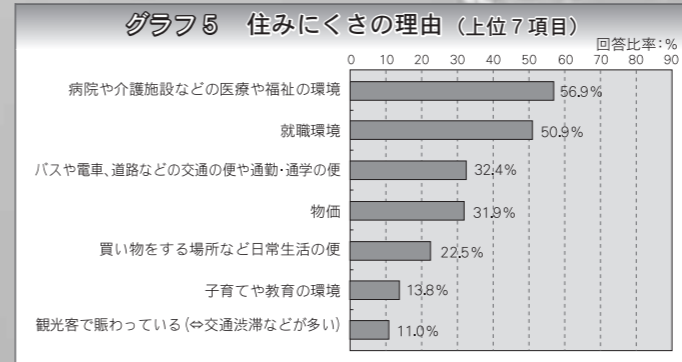
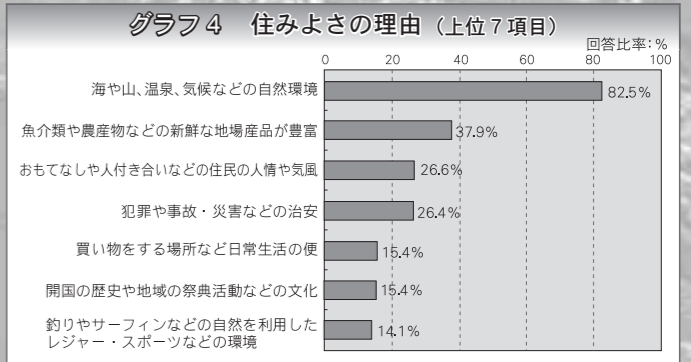
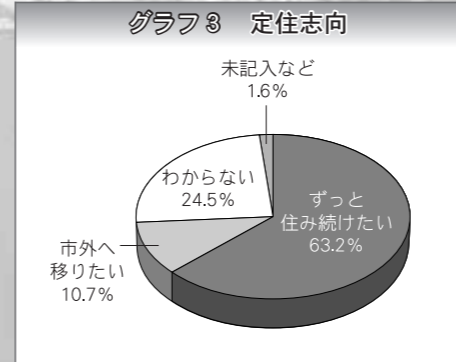
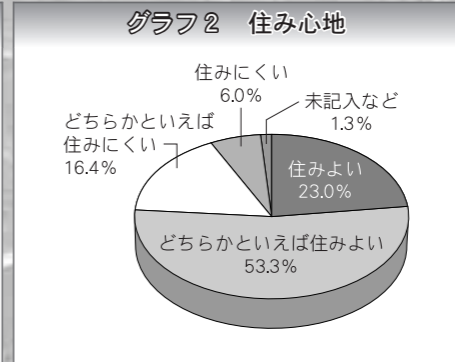
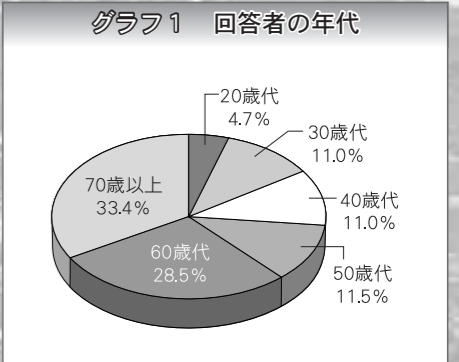
一方、重要度は、市民の価値観であるといえ、まちづくりの方向性を検討する上において十分に配慮することが求められます。

37項目の平均値を基準にして大きく4つのタイプに分類しています。

**4つのタイプの領域**

- 【省力化検討領域】満足度が高く、重要度は低い。現在の状態を保つとともに、今後の取組の力配分の見直しや必要性の検討が求められる項目
- 【現状維持領域】満足度も重要度も高い。現在の水準を維持していく項目

問合せ先 企画財政課 ☎ 2212



【必要性検討領域】満足度も重要度も低い。今後の取組方針や事業存続の見直しを求めるべき項目

【重点化領域】満足度が低く、重要度は高い。最優先で内容などを見直し、満足度を高めていく項目

置付けられます。「医療体制の充実」「働きやすい環境の整備」「観光業の振興」「効果的・計画的な行財政の運営」「災害に強いまちづくり」「商工業の振興」などが該当します。

今回のアンケート結果の全体的集計については、ホームページ（<http://www.city.shimoda.shizuoka.jp>）にて公開しておりますので、ご覧ください。

### 下田市総合計画審議会を設置しました

第1回下田市総合計画審議会が6月15日（火）に開催されました。審議会は市の条例に基づき設置されるもので、委嘱された20人の委員が市長からの諮問に基づき、総合計画に関して必要な調査や審議を行い、本年10月末を目途に答申を行う予定です。

今回の審議会では、市長による委員の委嘱、諮問が行われ、事務局から基本構想の序論の説明が行われました。

今回は、7月8日（木）午後1時30分から市民文化会館で開催します。また、審議会は公開としていますので、希望者が傍聴することもできます。

第4次下田市総合計画審議会委員（五十音順：敬称略）

区分	役職	氏名	所属等
1号委員 (学識経験者)		稲葉 篤実	元県職員
		大野美知子	元市職員
		田中とし子	元中学校長
	会長	土屋 孝一	元市職員
2号委員 (公共的団体の代表者等)	副会長	大川 敏雄	下田市区長連絡協議会
		大野 美紀	下田市社会福祉協議会
		菊池 岳人	下田青年会議所
		木田川雅弘	下田市観光協会
		進士 克馬	伊豆太陽農業協同組合
		田中 豊	下田商工会議所
		土屋 算夫	伊豆漁業協同組合
3号委員 (一般市民)		前田 由美	下田市女性の会
		向田 典義	下田市PTA連絡協議会
		小川志津子	
		小林真知子	
		佐々木純一	
		高橋 忍	
	土屋 慈子		
	山崎 義伸		
	渡邊 一夫		